

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24654
事業名	さっぽろアートステージ事業費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業 内 容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	・市民の文化芸術への関心を高めるとともに、第2次戦略ビジョン「ユニバーサル」における文化を通じた心のバリアフリー浸透のため、誰もが気軽に様々なアートに触れることができる環境整備が求められている。 ・また、文化芸術活動を行っている団体や個人、学生が活動を発表できる機会が十分とはいえない状況であるため、発表機会を創出・確保し、将来に続く文化人材の育成につなげていく必要がある。 ・その他、平成21年に浜松市と調印した「札幌市・浜松市 音楽文化都市交流宣言」に基づく学生交流を本事業のコンテンツを活用しながら継続実施していく必要がある。
	事業内容 (何を実施し)	①アートステージ開催事業(札幌劇場祭開催費補助金含む) 11月を文化月間と位置づけ、美術、演劇、音楽などのイベントを1か月間集中的に開催する。 ②浜松市との音楽文化都市交流 浜松市と交流団の派遣・受入を行い、両市の交流を深める。 ＜令和5年度の取り組み＞ ①さっぽろアートステージ2023:美術、音楽、舞台芸術の分野における様々なイベントを市内各所で実施した。 美術:学生、障がいのある方者、プロなど多様な層によるアート作品を市中心部で展示したほか、小学生向けにアーティストによるワークショップを3種類実施し、成果を展示した。 音楽:市内小中高校生による合唱・演奏の発表会「スクール音楽祭」をKitaraで実施したほか、地元ミュージシャンによるチカホでのライブパフォーマンスを実施した。 舞台芸術:市内8か所の劇場で演劇・人形劇等の公演を集中的に開催した。 ②浜松市との音楽文化交流事業:合唱団「ジュニアクワイア浜松」が来れし、北都中学校及び旭丘高校による合同合唱団と、合同練習及び交流会を実施の上、①の「スクール音楽祭」で合同合唱を披露した。
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	誰もが気軽に多分野にわたる文化芸術活動に触れる機会を集中的に創出することによって、市民の文化芸術への関心を高めるほか、文化芸術活動の担い手を育成することで、文化芸術振興を図る。
	他都市の状況	市民参加型の文化フェスティバルから、国際的な芸術展まで、多くの都市で大規模な文化フェスティバルが開催されている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	28,999 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度予算額	26,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度決算額	25,997 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和6年度予算額	32,000 千円	うち特定財源	1,000 千円	正規職員業務量	0.49 人工

指標	アウトプット 活動指標1	子どもの発表者数(累計)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,483人	3,500人	3,319人	5,500人	7,500人	9,500人
	↓						
	アウトカム 成果指標1	アートステージ参加者数(実数)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		13,789人	20,000人	22,979人	27,500人	35,000人	42,500人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	体調不良等の理由から、音楽祭を欠席した学校が複数発生したため活動指標は未達。今後、新設するダンス分野やワークショップに子どもの参加者数を増やす工夫等をして達成を目指していく。					
	アウトプット 活動指標2	子どものワークショップ参加者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		62人	60人	82人	60人	70人	80人
	↓						
	アウトカム 成果指標2	ワークショップに参加した子どもの満足度				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		88.20%	90%	100%	90%	90%	90%
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	対応可能人数が比較的多いワークショップを展開できたため、活動指標を大きく上回った。今後も、子どもたちのニーズを探りながらワークショップを実施していく。					

今年度の見直し内容	20周年記念事業や新設するダンス分野の取り組みを実現させるにあたり、広報物印刷部数の見直しや一部コンテンツの廃止により予算縮減に取り組んだ。
来年度以降の方向性	①美術、音楽、舞台芸術、ダンスのコンテンツを実施し、文化振興を図る。 ②浜松市から学生を本市に受け入れ、音楽交流を実施する。